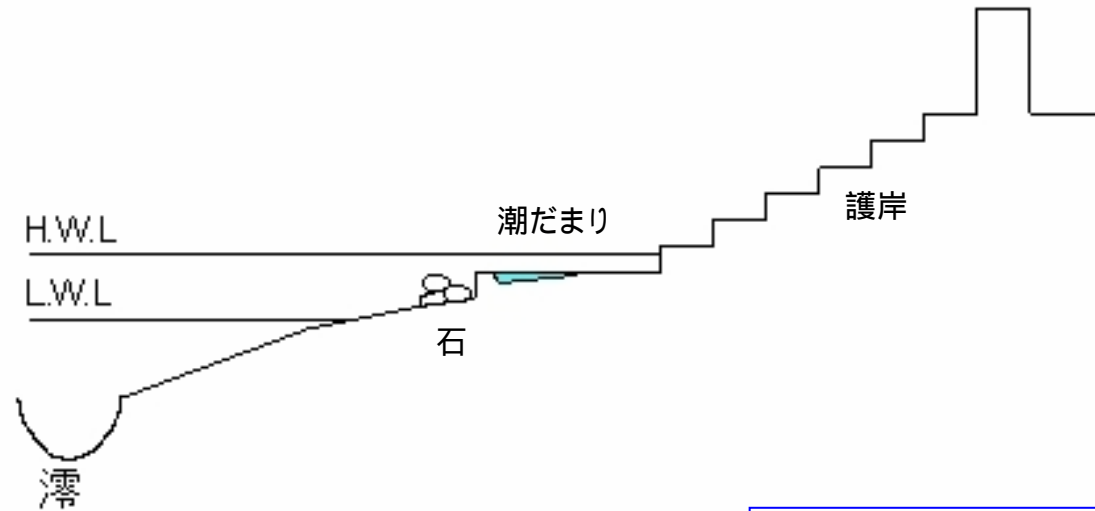
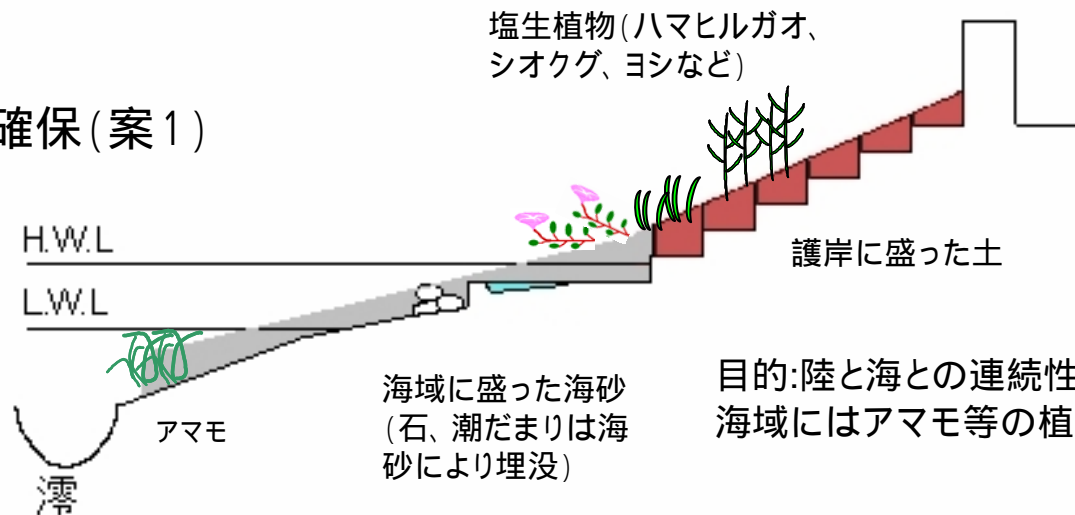


現状



(土や海砂を直置きした場合、冬季の季節風などによる飛砂発生の可能性が想定される)

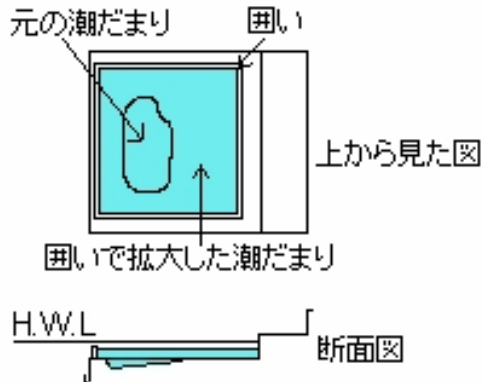
陸と海との連続性確保(案1)



目的:陸と海との連続性確保(陸上にはヨシ等、海域にはアマモ等の植栽)

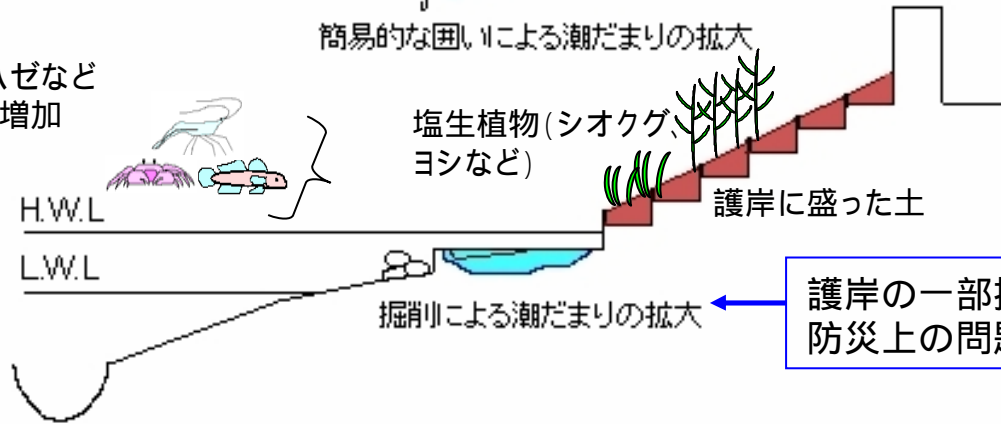
## 潮だまりの拡大(案2)

( 囲いにより潮だまりを拡大する場合と、護岸を掘削して拡大する場合の2例を示した)



目的:潮だまりを拡大し、エビ、カニ、ハゼなど多くの生物の生息を期待し、市民の干潟域への関心を高める。

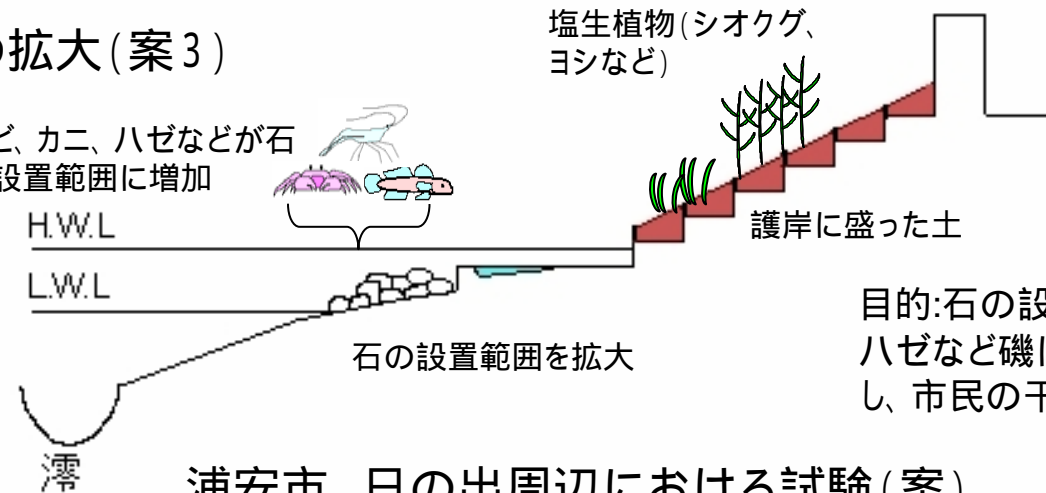
エビ、カニ、ハゼなどが潮だまりに増加



護岸の一部掘削により強度的に弱くなり、防災上の問題発生が想定される。

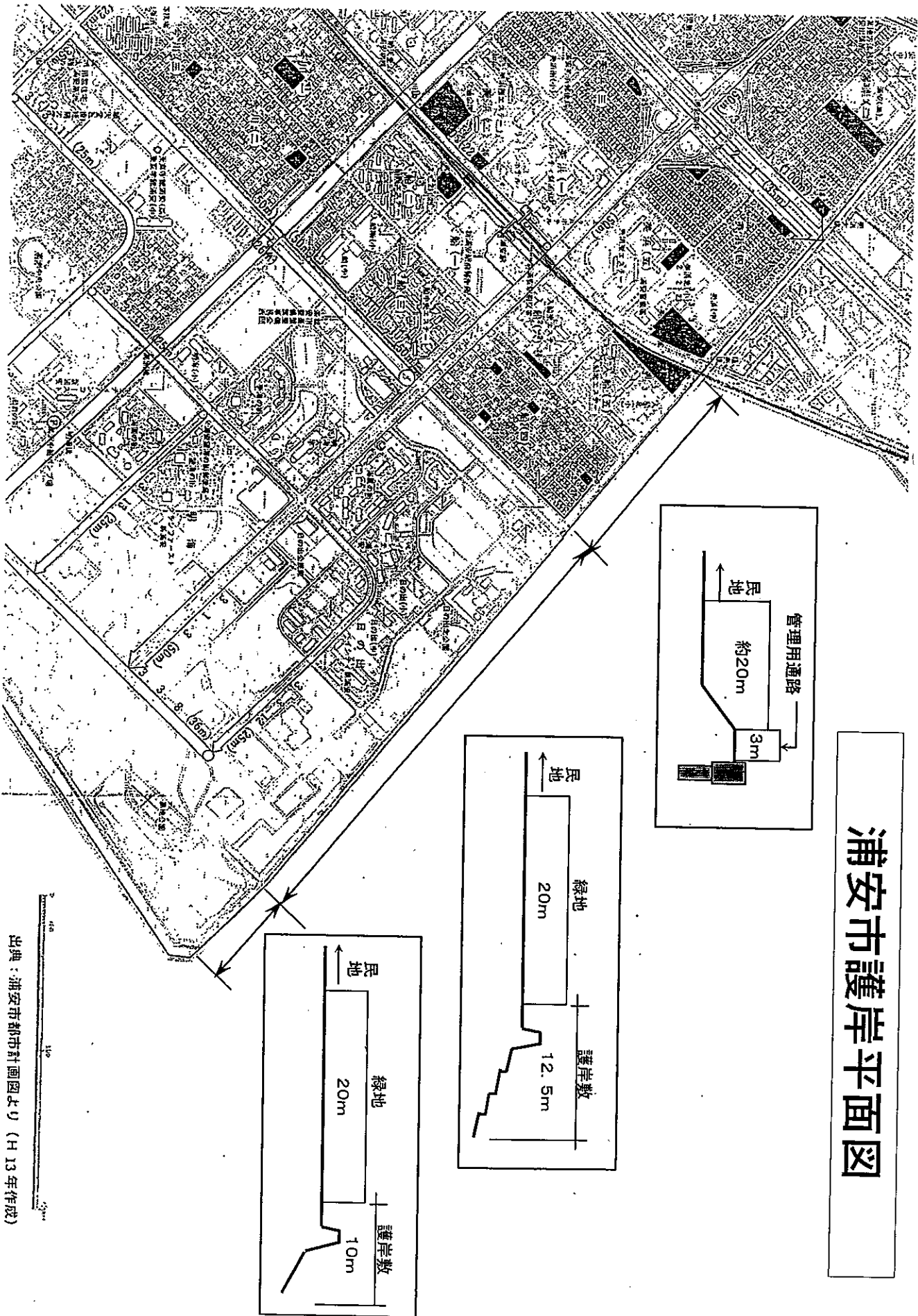
## 石の設置範囲の拡大(案3)

エビ、カニ、ハゼなどが石の設置範囲に増加



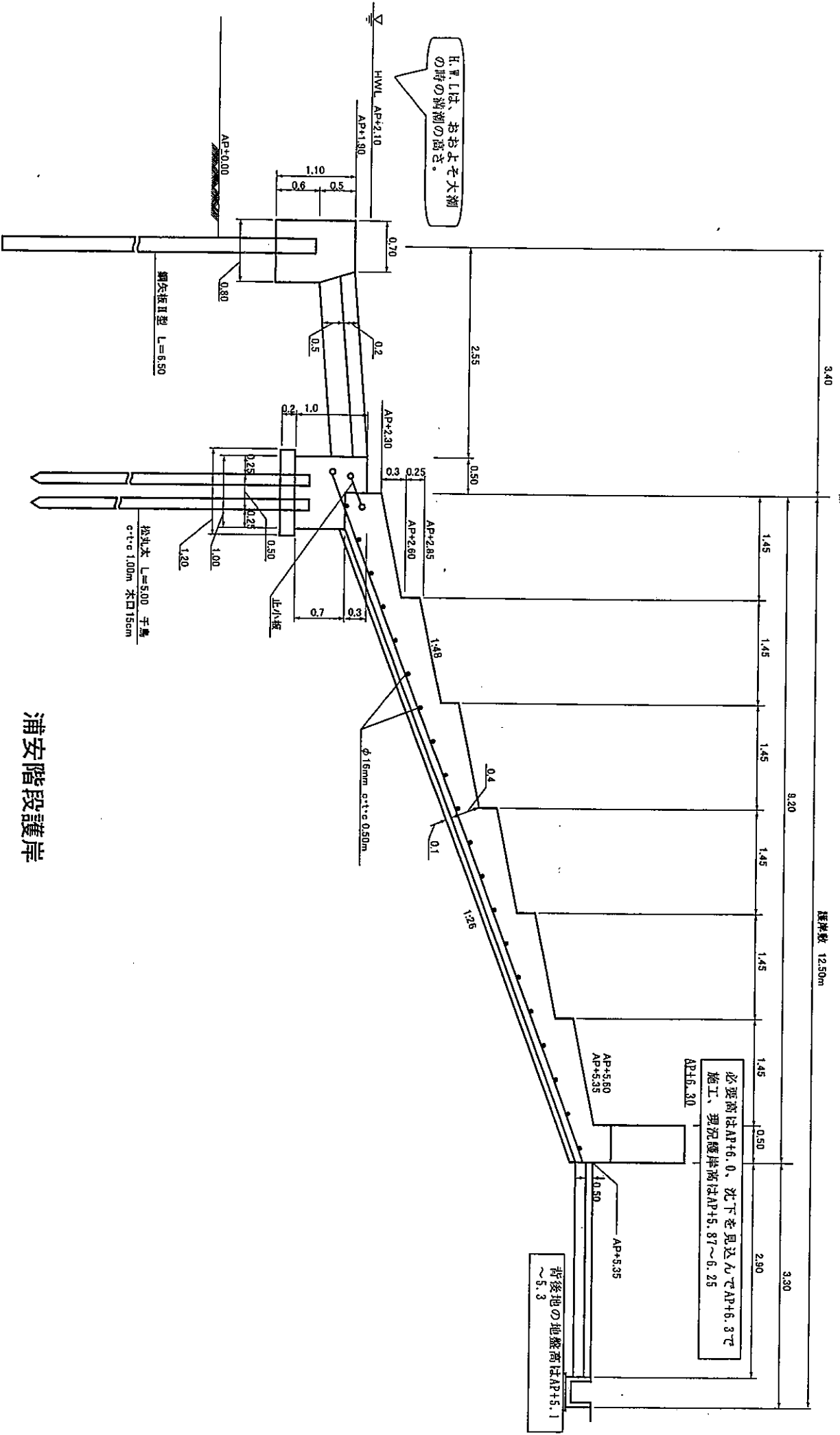
目的:石の設置範囲を拡大し、エビ、カニ、ハゼなど磯に生息する生物の生息を期待し、市民の干潟域への関心を高める。

# 浦安市護岸平面図



B2型護岸標準断面図

標準幅 12.50m



HWLは、おおよそ大瀬の時の高瀬の高さ。

必要高はAP+6.0、沈下を見込んでAP+6.3で施工、現況標準高はAP+5.87~6.25

背後地の地盤高はAP+5.1~5.3

浦安階段護岸

